

日退教発 16 - 45 号
2017 年 2 月 20 日
(FAX 送信 4 枚)

日本退職教職員協議会
各単会 会長様

日本退職教職員協議会
会長 西澤 清

「沖縄と連帯する日退教第8次沖縄交流団」

団員の募集について

昨年 12 月 13 日夜、沖縄県名護市安部(あぶ)沖の浅瀬にオスプレイが墜落し、大破する事故が発生しました。オスプレイ普天間配備から 4 年強が経ち、遂に懸念していたことが起きてしまいました。この事故をめぐって日本側は、「不時着」と発表し、事故機の調査に関して全く閉ざされたままです。事故原因の究明も不十分のまま 6 日後には、米軍は沖縄県民の頭上でオスプレイの飛行を開始しました。(2004 年 8 月、沖縄国際大学に CH46 ヘリが墜落した事故での米軍の行動を機に、「施設・区域外での合衆国運用航空機事故の関するガイドライン」が作成されましたが、これは事故による災害救助などに関わるもので、事故原因を究明する調査を共同で実施するなどに関しては何も盛り込まれていません。)

また 16 年 5 月 19 日に沖縄県で起きた米軍属による女性死体遺棄事件は、軍隊・基地が持つ本質的な非人間性を象徴する痛ましい出来事でしたが、政府は、再発防止策と運用の改善を求めるだけで、何ら本質的な対処をしようとしませんでした。

高江ヘリパッド建設は 12 月 22 日の北部訓練場一部返還記念式典(翁長知事欠席)を前に土砂搬入を強行し、「完成」したとしています。しかしヘリパッドに付随する進入路や歩行訓練ルートなどは未完成で、工事はこれからも続くとみられます。「静かに暮らしたい」「豊かな自然を壊さないで」という住民の願いにたって、これからも北部訓練場の全面返還を求めるたたかいは続きます。

名護市辺野古の新基地建設で、海上での本体工事が強行されています。国は北部訓練場の過半を返還して負担軽減をアピールする一方、違法確認訴訟の最高裁勝訴を理由に昨年 12 月 27 日、安倍首相のハワイ・パールハーバー訪問を前に、名護市辺野古の新基地建設を再開しました。さらにトランプ大統領との日米首脳会談を前にする 2 月 7 日には大型コンクリートブロック投下を始めました。海上作業ヤードの整備や護岸の新設、埋め立て土砂の投入と続けられる予定で、自然環境に大きな影響を与えます。後戻りができません。トランプ米政権と「辺野古が唯一」と確認した日本政府は、新基地建設に反対する県民の意思・願いを無視し、強硬姿勢に拍車を掛けています。

高江の米軍ヘリパッド建設や名護市辺野古の新基地建設の反対運動中、器物損壊や公務執行妨害などで逮捕・起訴された沖縄平和運動センターの山城博治議長(64)の身体拘束が 4 カ月にもおよんでいます。「県内のこれまでの基地反対運動などと比べても、異常に長い」「捜査は尽くされているはずで、起訴後も勾留する理由はない。一刻も早く保釈を」とする声を無視し、保釈を認めようとしていません。

大浦湾の入り口には、大きなサンゴ礁が発達しています。世界有数の規模といわれる青サンゴの大群落もあります。そのすぐそばに水深60メートルに達する深場があり、湾の奥まで比較的深い場所が続いています。サンゴ礁に囲まれた浅瀬が多い沖縄の海岸の中で、独特の地形といわれています。周りに深いやんばるの森が残り、いくつもの川が流れ込んで、河口にマングローブと干潟が発達しています。浅瀬にはジュゴンがエサにする「ジャングサ」などが生える海草藻場、沖には泥場、砂地などと、海の底の姿も多様で、それぞれすむ生き物も違います。そこを埋め立て基地にしようとしているのです。

日退教はこれまで7次にわたる「沖縄と連帯する日退教交流団」を組織し、現地で新基地建設に反対し行動する県・高退教の仲間、県民・支援者とともに短時間ではありますが、行動してきました。またさる2月8日には、日退教男女共生委員会学習会(講演「沖縄から問う ～軍事主義と性暴力～」、講師 安次嶺美代子さん 沖縄高退教)を開催し(38名参加)、沖縄を学びました。

このような情勢の中で、下記のとおり、第8次交流を企画しました。各単会の皆様の参加を要請します。

記

「沖縄と連帯する日退教第8次沖縄交流団」「辺野古新基地建設工事に抗議し、大浦湾の海を学ぼう」

- 1 日程
- ・下記日程は現時点での予定です。ご承知ください。詳細はこの工程を基本に現地日退教・高退教と今後さらに調整します。
 - ・現在キャンプシュワブ前での行動は毎週水曜日と木曜日が大規模な行動となっています。

2017年 4月26日(水) 交流懇親会(於・沖縄県教育会館)

16:30 受付

17:00 映画「森が泣いている 1or2 鑑賞」(予定)

18:00 交流懇親会

4月27日(木) 辺野古キャンプシュワブゲート前座り込み、抗議行動

7:30 集合・出発(沖縄県庁前)

辺野古(キャンプシュワブゲート前)

瀬嵩浜

16:00 那覇着(県庁前)

4月28日(金) 辺野古キャンプシュワブゲート前座り込み・
グラスボートにて大浦湾海底探索(抗議船ではありません)

8:00 集合・出発(沖縄県庁前 予定)

辺野古(キャンプシュワブゲート前)

瀬嵩浜

大浦湾の港 グラスボート乗船、大浦湾へ

16:00 那覇着(県庁前)

- | | |
|----------|--|
| 2 募集人員 | 20人 |
| 3 集合・解散 | 現地集合、現地解散となります |
| 4 交通・宿泊 | 現地までの交通手段、宿泊は各自ご手配ください。 |
| 5 参加費 | 15,000円(2日間バス代、昼食代、会場費、懇親会代、 <u>実費精算</u>) |
| 6 申込締め切り | 参加申し込みは各単会へ(4月10日(月)日退教締め切り) |
| 7 その他 | 日程詳細は参加者に連絡いたします。 |

以上

「沖縄と連帯する日退教第8次沖縄交流団」

2017年4月26日（水）～28日（金）

参加者申込み名簿

申し込み日 2017年 月 日

単会名	
連絡責任者	

参加者お名前（年齢）	(〒) 住 所	電話《できれば携帯》	Fax
()	(〒)		
()	(〒)		
()	(〒)		
()	(〒)		

注 「第8次沖縄交流団」参加者申し込み締め切りは4月10日（金）です

日退教 FAX 03-5275-2081